四條畷市議会議員（無所属）　一級建築士

作成：2017.07.21
市政報告08月号

長畑ひろのり News vol.117

(C)2013 Kohama Studio

6月定例議会における一般質問

５項目の質問をしたうちの１項目を、議場で発言した内容に少し補足し報告します。内容は、私の所属会派の５月定例議会における代表質問の続き（前号で報告済み）となります。

・四条畷駅周辺整備について（長畑案）

この件に関しては、質問と言うよりも私から主に３つの提案と要望をさせて頂きました。まず、提案より説明をします。

③の歩行者天国と考えているのは、次の理由からです。大東市の計画では、四條畷学園の中心を東西に通る一方通行の道路（D）が無くなり、その南側に大正橋へと繋がる大きな道路（E）ができます。結果、鳥居のある旧国道１７０号から西方面の道路（C）は、通勤通学で利用する方が増えると思われます。また②により、現状のバスはマクドナルドを右折して楠公交番前を通ることは無くなり安全面も確保しやすくなりますが、そのことにより車窓からの商店に対する宣伝効果が無くなりますので新たな商売に繋げる展開へと考えました。

① 駅舎の２階部分をコンコースとして忍ヶ丘駅方向へ線路上で延長し、東西方面のどこからでも駅へ行けるように階段とエスカレーターを付ける。特に楠公商店街やマクドナルド近くには必ず設け、直接踏切を渡らなくても良いようにする。・・・A部分

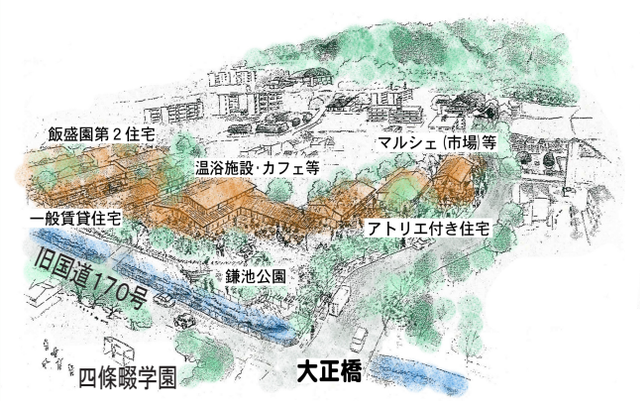
② 東側ロータリーが計画では小さく大型バスが乗り入れできないので、バス停が設置できるまでロータリーを広げる。・・・B部分

③ 楠公商店街西端の小楠公墓所を起点に鳥居のある旧国道１７０号の交差点を終点とする間を歩行者天国（日時等は要検討）とし、この区間の新たな展開を考え賑わいのある商店街を構築していく。・・・C部分

④ 北条まちづくりを視野に入れた、つまり、四條畷市営住宅までも含めた四条畷駅周辺整備を考える。

以上４つの提案をさせて頂きました。この提案に対して市長の答弁は裏のページとなります。

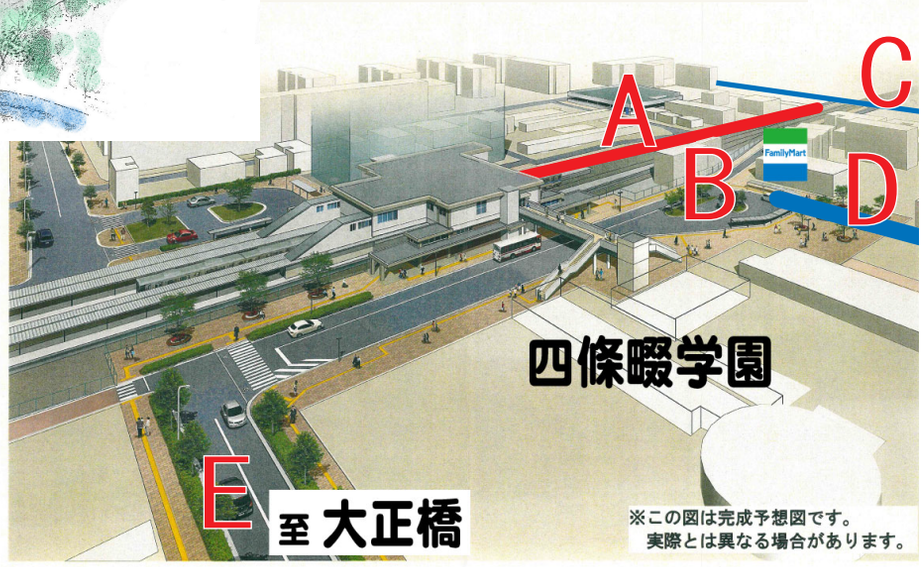
北条まちづくりデザイン案



※手に入れた北条まちづくりデザイン案の資料は線だけでしたので、分かり易いように私が色を付けました。

※四条畷駅周辺整備完成予想図の「至 大正橋」と書かれている道路は、北条まちづくりデザイン案の「大正橋」へと繋がります。

四条畷駅周辺整備完成予想図



※この図は完成予想図です。
実際とは異なる場合があります。

毎月発行している“長畑ひろのり News”を、約半年ごとに送っています。
送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所　FAX 072-877-1280
e-mail　sky@nagahata.jp

http://nagahata.jp

Instagram　mixi　twitter　facebook　ココログ

表のページより続く

以下が、市長の議場でした答弁そのままです。

現在、両市担当部間での協議を開始し、大東市の取組み状況の現状把握に傾注しておりますが、これと並行し、あらゆる方面での情報収集や先行事例等の検討にあたっているところです。

このような中、議員の多岐に及ぶご提案は、検討に際しての要素にあたり、内容を十分に吟味し、今後の判断に活かしていく所存です。

なお、北条地域のまちづくりに関しては、先般、大東市より詳細の整備計画を説明いただいた実態にありますが、これを機に将来にわたる本市のまちづくりに鑑み、当該駅周辺を大きく捉えての整備が不可欠との認識に立ち、以降の展開を見据えつつ必要に応じ適切な対応に努めてまいります。

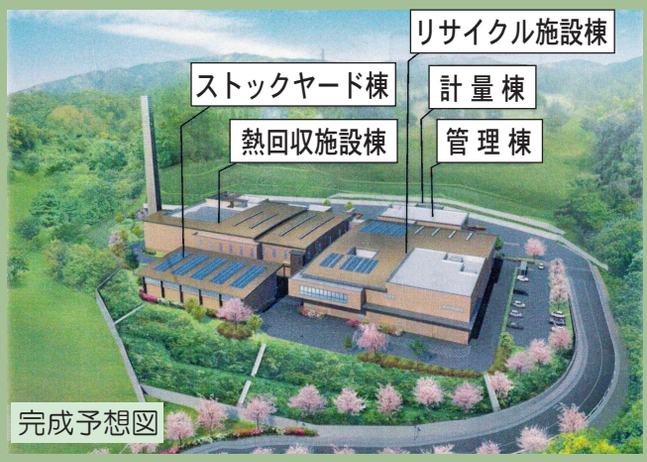
私は市長の答弁が前向きであったのが確認できたため、以下の要望をし、この件についての質問は終えました。

市民は、ここが四條畷市、ここは大東市と考えて生活しているでしょうか。私は、市民にとって本当に四條畷市が住み良いまちへと変化していくのであるならば、隣接する市との連携は避けるべきではないと考えますし、逆に本市から積極的に連携を求めていくべきだと考えます。

今回は四条畷駅を中心としたまちづくりの提案をさせて頂きましたので、内容としては大東市との連携がメインとなりました。しかし、今後は寝屋川市、また生駒市との連携も視野に入れた、大きな視点でのまちづくりに取り組んで頂きたい。

シリーズ新ごみ処理施設進捗状況５

今年度、四條畷市交野市清掃施設組合議会議員となり、７月１２日に臨時議会が開かれ私が監査委員に選任されました。毎月下旬には現金出納検査を行いますので、今まで以上に、新ごみ処理施設については注視していくことになります。



完成予想図

今後の予定ですが、下記のドローンによる画像を見て頂ければわかりますように、外構工事（排水・舗装・植栽）を残して施設（土木・建築・プラント）は７月末にほぼ完成となります。そして８月に受電、その後機器単体運転、９月下旬からごみを受け入れ負荷試運転を行い、問題がなければ平成３０年１月の終わりに竣工引渡し、２月には本格稼動となり、３月に竣工式を行う予定となっています。

また、現在稼働中の清滝ごみ焼却施設ですが、７月より閉鎖工事の設計業務を行い、９月頃から仮囲い設置工事や監視カメラ設置工事を行う予定となっています。そして来年度に閉鎖工事を施工するとともに、施設解体における調査業務を実施する予定となっており、その中で、清滝ごみ焼却施設の跡地利用についても検討することになっています。